

高等学校 令和6年度（2学年用）教科 地理歴史 科目 世界史探究

教科：地理歴史 科目：世界史探究 単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 A組～H組

教科担当者：（AB組：伊藤）（CD組：伊藤）（EF組：伊藤）（GH組：伊藤）

使用教科書：（世界史探究 詳説世界史 山川出版社）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	①農耕や牧畜をはじめたことで、人類の暮らしはどのように変化したのだろうか。 ・農耕・牧畜の開始から国家の成立までの過程における、人類の生活や社会の変化について考える。	・指導事項 文化の始まり 農耕社会の成立 ・教材 教科書 資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】オリエント文明、インダス文明、中華文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解している。 【思考・判断・表現】古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけてたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的】「古代文明の出現」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	9
	①古代オリエントには、どのような特徴をもった文明が生まれたのか。また、諸民族の侵入や移動は、オリエントの歴史にどのような変化をもたらしたのだろうか。 ・メソポタミア文明やエジプト文明の特色について考える。 ・東地中海の諸民族の活動と彼らが生み出した文化や宗教について考える。	・指導事項 オリエント世界 ・教材 教科書 資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】メソポタミア文明やエジプト文明、ユーグ文明について、諸資料から読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】メソポタミア文明、エジプト文明、ユーグ文明がそれぞれの自然環境とどのように関係しておいたのか、それらの文明がのちの社会にどのような影響を与えたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的】「オリエント世界」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	①古代ギリシアのポリスには、どのような特徴があったのだろうか。 ・ポリスの成立と発展について考える。 ・アテネの民主政の発展と特徴、ポリスの衰退について考える。 ②アレクサンドロスの東方遠征や大帝国の建設は、ギリシア・オリエントの文化にどのような変化をもたらしたのだろうか。 ・アレクサンドロス大王の東方遠征と、ヘレニズム文化の発展について考える。	・指導事項 古代ギリシア文明 ヘレニズム文化 ・教材 教科書 資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】古代ギリシアとヘレニズム世界について、諸資料から読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】アテネの民主政と現代の民主政にはどのようなちがいがいるのかについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的】「西アジアと地中海周辺」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	①ローマの共和政はどのようにして帝政へと変容していったのだろうか。 ・ローマにおける共和政の成立と支配領域の拡大について考える。 ・ローマにおける帝政への移行とキリスト教の誕生・拡大について考える。	・指導事項 共和政ローマ 帝政ローマ ・教材 教科書 資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】・ローマによる地中海世界の統一や、ローマが共和政から帝政に移行した背景などについて、諸資料から読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】ローマがなぜ共和政から帝政に移行したのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的】「共和政および帝政ローマ」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	9
定期考査			○	○		1	

昭和高等学校 令和6年度 地理歴史科 発展日本史 年間授業計画

教科：地理歴史 科目：発展日本史 単位数：6単位

対象学年組：第3学年A組～H組

教科担当者：(①③錦織 ②池田)

使用教科書：(『詳説日本史B』山川出版社)

使用教材：(『新詳日本史』浜島書店 『新日本史史料集成』第一学習社)

	指導内容	科目：世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	室町時代 幕府の動揺と一揆 室町文化	戦国期における社会の転換、一揆について理解する。北山文化・東山文化の特徴について理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	6
	幕藩体制の確立	幕藩体制、幕府と藩の機構、天皇と朝廷、禁教と寺社、江戸時代初期の外交、鎖国政策、長崎貿易、朝鮮と琉球、蝦夷地、寛永期の文化について、詳しく理解する。江戸期の身分と社会、村と百姓、町と町人、農業、林工業・鉱業、商業について詳しく理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	6
	幕藩体制の確立	江戸期の身分と社会、村と百姓、町と町人、農業、林工業・鉱業、商業について詳しく理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	6
5月	幕藩体制の展開	平和と秩序の確立、元禄時代、正徳の政治、農業生産の進展、諸産業の発達、交通の整備と発達、貨幣と金融、三都の発展、商業の展開について詳しく理解する。三都の発展、商業の展開について詳しく理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	8
	幕藩体制の動揺	享保の改革、社会の変容、一揆と打ちこわし田沼時代、宝暦・天明期の文化、洋学の始まり、国学の発達と尊王論、生活から生まれた思想、儒学教育と学校、文学と芸能、絵画について詳しく理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	8
		開国から幕府滅亡・新政府の発足を詳しく理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト ・定期テスト	6
6月	近世から近代へ	開国から幕府滅亡・新政府の発足を詳しく理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	6
	近代国家の成立	明治維新と立憲国家の成立を詳しく理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	6
	近代国家の展開	日清・日露戦争から第1次世界大戦における国際関係を詳しく理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	6
		ワシントン体制について詳しく知る	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	6
7月	近代の産業と生活	近代産業の発展について理解する	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト ・定期テスト	18
8月	恐慌と第二次世界大戦	恐慌について理解する	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	6

	指導内容	科目：世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9月	恐慌と第二次世界大戦	軍部の台頭と第2次世界大戦に於いて詳しく理解する	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	4
	占領下の日本	占領政策について理解する	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	6 6 4
10月	占領下の日本	冷戦の開始と講和について詳しく知る	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	12
	高度成長の時代	55年体制について理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト ・定期テスト	8
11月	高度成長の時代	経済復興から高度経済成長について詳しく知る	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	12
	激動する世界と日本	経済大国への道を理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	12
12月	激動する世界と日本	冷戦の終結と日本社会の変容について詳しく知る	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト ・定期テスト	18
1月	入試問題演習	各進路希望に応じて必要な演習を行い、学習内容の理解を深める。	・演習への取り組み ・授業態度 ・確認テスト	18
2月	入試問題演習	各進路希望に応じて必要な演習を行い、学習内容の理解を深める。	・演習への取り組み ・授業態度 ・確認テスト	14
3月	入試問題演習	各進路希望に応じて必要な演習を行い、学習内容の理解を深める。	・演習への取り組み ・授業態度 ・確認テスト	8